

【教育目標】

○自ら考え正しく判断できる生徒 ○心豊かで最後までやり抜く生徒 ○健康で活力ある生徒

福島県南相馬市立原町第一中学校

原一中だより

第 11 号 令和5年3月23日(木)発行

令和4年度 重点目標

互いに助け合い 高め合える生徒

卒業生126名の旅立ち

3月13日(月)、第76回卒業証書授与式が挙行され、126名の3年生が旅立っていきました。3年間の思い出を胸に、学び舎を後にし、感慨もひとしおだったと思います。これから、より広い世界で活躍してくれることを願っています。

*校長式辞から抜粋

今からちょうど三年前、私たちは新型コロナウイルス感染症により、これまでの日常を奪われ、未曾有の経験をしました。卒業生の皆さんは入学式の翌日から自由登校となり、数日後には臨時休業、学校が完全に再開されたのは5月中旬となりました。それぞれが思い描く中学校での日常生活や部活動などは制限のかかった中でのスタートとなりました。

しかし、3年生となった今年度、生徒会では「挑戦」、文化祭では「彩」をスローガンに掲げ、様々な場面で、本校の歴史に輝かしい足跡を残してくれました。「挑戦」と「彩」の二つの言葉には共通する不思議な力があります。困難な中であっても、「明日を信じて、未来を信じて、自分の力を信じて、一步一步前向きに生きていこう」という強いメッセージが込められています。

思い出してください。原町第一中学校の活躍を。県大会・東北大会・そして全国大会へと数多くの部活動・個人が出場し、原町第一中学校みんなの夢、地域の期待を運んでくれました。

思い出してください。大いに盛り上がった文化祭、そして、合唱祭で感じた充実感と一体感を。コロナ禍のため合唱の練習が思うようにできなくても、タブレットで何度も何度も音を聞き、完成させた最高のクラス合唱を。自分一人の力では決して成し遂げることができない、クラス全員の思いが重なり合い、心がひとつになる最高の瞬間を味わったことでしょう。(中略)

これからの社会はグローバル化が進み、世界中の人たちと協力することがより一層必要となります。その時、この原町第一中学校で培ってきた力、互いに助け合い、高め合いながら、どんな困難に直面しても、しっかりとそれを乗り越えて、この原町第一中学校で学んできたという誇りを持って、前進し、成長し続けてほしいと思います。



【答辞：佐藤さん】

伝統を受け継ぎ新たな未来へ 令和5年度 生徒会役員決定

3月15日(水)、令和5年度生徒会役員立候補者の立会演説会及び投票が行われました。今回の選挙には、会長及び1年庶務のポストに定数を越える立候補があったため選挙となりました。また、20日(月)には補欠選挙が行われ、意欲あふれる生徒会役員全員が決定しましたのでお知らせします。



■会長 高橋さん

公約：「団結をはかる」「学年の壁を少しでもなくす」ために、『全員参加型(全年齢・先生方)の活動』を行いたい。

■副会長男子 佐藤さん

公約：校則など学校生活に関する疑問について、意見を集め、解決・改善に尽力したい。

■副会長女子 大和田さん

公約：デジタル目録やアンケートにより、みなさんの考えを反映したい。文化祭など学校行事を活発で新しさのあるものにしたい。

■2年庶務 渡邊さん

公約：お昼の生徒会広報の活用や新しい企画を考え、明日も楽しみと思える学校にしたい。

■2年庶務 三浦さん

公約：会長の想いを全力でサポートするとともに、自分の個性を生かした企画を提示していきたい。

■1年庶務 坂井さん

公約：元気よくあいさつのできる、原一中生全員が来たいと思える学校にしたい。

■1年庶務 田中さん

公約：学校生活の思い出となるレクリエーションを増やしたい。伝統である元気なあいさつの継続。